

7/17

## 氷見市からエールを 朝乃山関応援！横綱がブリ寄りうどん

富山県出身で新大関朝乃山の大関デビューへエールを送ろうと、市内の旅館や民宿の女将さんたちが知恵を絞り、朝乃山富山後援会協力のもと、名物「氷見のうどん」を使った新メニューが誕生しました。

レシピの考案者は朝乃山関大ファンの女優 紺野美沙子さん。ブリの塩焼きや、海越しの立山連峰を連想する大根おろし、横綱の綱をイメージした手綱かまぼこに、朝乃山関の大好きな卵焼きがトッピングされており、ブリのアラでとったダシで温かいうどんと冷たいうどんの2種類があります。

ひみ番屋街のレストラン番屋亭で大相撲夏場所千秋楽の8月2日まで提供され、氷見市から朝乃山関へエールを送りました。



7/18

## 幻想的な空間で 竹ドームコンサート開催

絆の森 竹ドームで 15 回目のコンサートが開催されました。

これは、湖南小学校と十三中学校の児童生徒や保護者、地域住民の皆さんが一体となり整備・管理する飯久保地内の竹林で、夏の訪れに合わせて開催しているイベントです。

空を覆うように竹がしなり、幻想的な空間を作るドームの中で、湖南小学校の児童によるリコーダー演奏や「にじいろ」の合唱、十三中学校の生徒による創作音楽ボディーパーカッションなどが披露されました。

また、シンガー英樹&ハニーグレースやっこや、澤武紀行さんの歌唱が会場を盛り上げました。



7/19

## 氷見で女子カアッ！ ヒミ・ビスム・プラス HIMI×BSM+ 開催

美容・運動・食を通して女子カアッを目指す「HIMI×BSM+」が開催され、市内外の女性がパン作りとラン&ウォークを体験しました。

創作工房ひみでは、中央町商店街にあるパン屋「考えるパン KOPPE」の竹添あゆみさん講師のもと、4種類のふわふわパンを作りました。

発酵する時間を活用し、ランニングトレーナーの守屋済美さんと一緒に近くの広場で体操やウォーキングで汗を流した参加者からは「プロの先生の話聞きながら体験できてよかった」「託児所付きで気分転換になって嬉しい」という声が聞かれました。

HIMI×BSM+は途中参加も可能です。詳しくは、氷見市体育協会(☎0766-74-8500)までお問い合わせください。



8/8

## 氷見市に新たなシンボルを 新文化交流施設の実施設計市民説明会開催

旧市民病院跡地に整備する新文化交流施設の実施設計市民説明会がいきいき元気館で行われ、設計者である(有)ナスカの古谷誠章代表が施設の特徴をリモート会議システムで説明しました。

新文化交流施設は、ホールの客席 800 席のうち、496 席は空気浮上式可動席となることで、ミュージカルやコンサートなど、さまざまな催事に対応することができます。また、外観は、黒瓦やしっくい白壁が美しい氷見の街並みをイメージし、内装の一部に「ひみ里山杉」を使用することで、氷

見らしさあふれる建物となる予定です。

実施設計について詳しくは、広報ひみ 10 月号でお知らせします。ぜひご覧ください。

8/11

## 豊かな海をつくり、育てる 氷見高校生クルマエビの稚エビ放流

「つくり育てる漁業」の推進を図るため、氷見高校海洋科学科 1 年生 20 人と漁業関係者らが比美乃江公園の親水池でクルマエビの稚エビの放流を行いました。これは、氷見市と氷見漁業協同組合が、豊かな海づくりの一環として毎年実施しているものです。

クルマエビが育ちやすい環境を整えるため、放流の前に親水池の整備を行った生徒たち。その後、きれいになった池へ、ホースを使って水と一緒に稚エビを流し込みました。大石純聖くんは「クルマエビは全国的にも数が少ないので、稚エビが大きく成長し、多くの人に食べてもらいたい」と語ってくれました。

今回、放流した稚エビ計 30 万匹は、来年の秋ごろには 10cm 以上にまで成長します。

